

各テーブルで談話風発。谷口支部長（左から2人目）を囲んだテーブルでも会話は多岐にわたった。右から深谷会長、高橋東北遊協理事長（背中）、竹田宮城県遊協理事長、岩本政郁宮城県遊協副理事長、左端は秋山岩手県遊協理事長



## 東北支部が「新春の集い」開く

# 「垣根を越えて前進したい」谷口支部長 決意を語る

東北支部の「新春の集い」は2月15日、仙台市・パレスへいあんで開かれ26人が参加した。竹田隆宮城県遊協理事長、秋山照明岩手県遊協理事長、井上静雄山形県遊協理事長はじめ高橋一郎東北遊協理事長、村山剛回胴遊商東北支部長ら産業界の幹部が来賓として会を盛り上げた。日遊協本部からは深谷友尋会長、篠原弘志専務理事、伊東慎吾常務理事が出席した。冒頭挨拶に立った谷口久徳支部

長は「昨年は東日本大震災、カジノ問題など混沌としたなか、私達は一一致団結して逆風を乗り越えてきました。先日、ある警察署長さんが『昔東京で学生時代を送っていた時、人生劇場という名のパチンコ屋さんがあった。この間本場に久しぶり出かけたら、その人生劇場はいまだにやっていた。どうしてつぶれないでいたと思う？それはお客様が支えてくれたからだよ』と話された。行政の方に言われただけになおさら感銘を受けました。これからまだまだ大きな問題もあります。団体の垣根を越えて前進していきたい」と強調した。

## 「横断的組織を生かせ」

深谷会長は「昨年は、絆、思いやり等のいろいろな言葉によって日本の空気が変わってきました。そろそろ業界もみんな心を開いて、大衆娯楽としてどう生きていくか議論をしていきたい。昨日も被災地へ行って参りましたが、パチンコ店が繁盛するのはいいことだと

ロータリークラブの人に言われました。少しずつ光が見えてきています。支部長のもとに、東北ここにありを示していきたい」と話し、竹田理事長は「日遊協という存在は重要です。横断的組織として、その立場を十分に生かしてほしい。ホールとメーカーは両輪とよく言われますが、顔を合わせれば、ややもすると言い合いに終始してききました。そこで日遊協は皆が繋がりあえる場面を作ってほしいのです」と要望した。

会は、それぞれ丸テーブルを囲んでじっくり意見交換が行われ、なごやかに進んだ後、篠原専務が中締め挨拶をしてしめくくった。

## 不正対策室会議

# 一般ファンから660件 些細なことが不信の原因

不正対策室会議（室長・伊東慎吾 日遊協常務理事）は2月7日、日遊協本部会議室で開かれ、PSIO（不正対策情報機構）への入力情報が報告され、ゴト情報、不正情報について意見交換された。1月の不正情報のオープンネットのうち、業界関係者からは12件、一般ファンのパソコンから291件（昨年1

月比139件増）、携帯電話からは369件（昨年1月比168件減）で一般ファン合計660件の情報が寄せられた。

ゴト情報については、全国的に磁石、玉持ち込みがあとを絶たず、ホールの監視体制の強化が急務とされた。不正情報では、遊技機、店員への指摘は相変わらずで、些細なことでも不信の原因になることが話し合われた。

## MARCH

## 3月の行事予定

1日 (木)	15:30~17:30	広報委員会
2日 (金)	16:30~17:30	ばちんこインターネット協議会
7日 (水)	10:00~17:00	店長等講習・試験 (東京)
8日 (木)	10:00~17:10	取扱主任者新規講習・試験 (博多サンヒルズホテル)
9日 (金)	10:00~16:50	取扱主任者更新講習・試験 (博多サンヒルズホテル)
	15:30~17:30	社会貢献・環境対策委員会
	16:00~17:30	人材育成委員会
13日 (火)	13:00~15:00	流通制度委員会
	15:20~17:00	経営改革委員会
15日 (木)	11:00~	政策検討連絡会
	13:30~	理事会
	16:30~	記者会見
19日 (月)	12:00~	不正対策室会議
	15:00~	セキュリティー対策委員会
21日 (水)	14:00~19:30	東京都・関東支部総会 (ハイアットリージェンシー東京)
22日 (木)	11:00~17:00	警察庁立入検査
23日 (金)	15:00~	遊技機開発委員会
29日 (木)		風営法ワーキングチーム会議

風営法ワーキングチーム

項目ごとに検討進む 運用基準の見直し試案



風営法改善要望を検討する日遊協風営法WT

出席者は次の通り（順不同、敬称略）。

- 本部・座長 篠原弘志（専務理事）
- ▽東北支部 影山健二（株ニラク）
- ▽東京都・関東支部 茂木欣人（ピーアークホールディングス株）、丸山一男（株安田屋）、田中克幸（株マルハン）
- ▽中部支部 墨岡弘明（フシミコーポレーション株）
- ▽中国・四国支部 津口大輔（株プロバ）
- ▽アドバイザー・行政書士 小峰望（のぞみ合同事務所）、日野孝次朗（同）

（株）北電子が「注意」要請

ジャグラーなどのゴトで

（株）北電子は2月3日、日遊協などホール関連団体に対し、同社の回胴式遊技機「アイムジャグラーSPⅧ」でいわゆるクレマンゴト事案の発生を確認したとして、同機種と「クラシックジャグラーⅢ」「ボンジョビ5」の計3機種についてホールでの監視強化を図るよう要請文を発した。

同社が確認したのは、「アイムジャグラーSPⅧ」の投入口から

不正な器具を挿入し、投入センサーを誤作動させることでクレジツトを上げるゴトで、目下対策が非常に困難だという。同社は監視の際の注意点として、①ゴト師は返却ボタンに手をかざしている（器具の挿入、取り外しの際に返却ボタンを操作するため）②セレクトキー関連のエラー（「C0」エラー、または「CC」エラー）が発生する――を挙げている。

日遊協は2月7日、（株）北電子の要請を受けて、「アイムジャグラー」におけるゴト事案について」と題する要請をホール会員宛てに発し、対象3機種について注意喚起を呼びかけた。

「遊報」全号をDVD化

全日遊連、創立20周年で

全日本遊技事業協同組合連合会はこのほど、機関誌「遊報」の1号（1991年4月1日刊）から247号（2011年12月1日刊）までと号外、臨時号を加えた計250冊分をDVD化した。写真。これは全日遊連が今年創立20周年を記念しての企画の1つ。特定キーワードで記事が検索でき、業界



の歴史が通覧できるようになっている。全日遊連はこのDVDを500枚制作し、都府県方面遊協、業界団体、警察等に配付した。また、組合員向けに全日遊連ホームページにもアップした。

貯玉補償基金理事会 中間結果を確認

被災地ホール補償4社

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は2月7日、日遊協本部会議室で第39回理事会を開き、6議案を審議した。第1号議案から第4号議案までは、東日本大震災で被災したホール4社それぞれへの補償実施の中間結果確認の件で、4議案とも了承された。第5号議案は平成24年度社員総会・理事会開催スケジュールの件、第6号議案は貯玉補償基金広告掲載の件で、ともに承認された。引き続き「貯玉補償基金加盟状況」、「資金運用状況及び資金運用継続」、「東日本大震災状況」、「職務執行者変更」について報告が行われた。



# 東和産業(株)、表彰状受ける

## 資源エネルギー庁長官賞

「平成23年度省エネ大賞」(財)省エネルギーセンター主催)の表彰式が2月1日、東京ビッグサイト・レセプションホールで行われ、首都圏でパチンコ・パチスロ24店舗等を展開する東和産業(株)(岸野秀英社長)は省エネ事例部門(CGO・企業等分野)で資源エネルギー庁長官賞を受賞、岸野誠人副社長が高原資源エネルギー庁長官から表彰状を受けた。

表彰式では42件のテーマについて

て経済産業大臣賞、資源エネルギー

庁長官賞、中小企業庁長官賞、省エネルギーセンター会長賞、審査委員会特別賞が授与された。授与されたのは、東和産業(株)のほかにパナソニック(株)、本田技研工業(株)、シャープ(株)、三菱電機(株)、札幌市、名古屋大学など54の企業・自治体・大学。受賞の発表会と展示会は、2月1〜3日に東京ビッグサイト会議棟で開催された「ENEX2012」第36回地球環境とエネルギーの調和展」で行われ、3日間合計で約1万3000人の来場があった。

東和産業(株)のテーマは「総合サービス企業の節電活動における水平展開」で、内容は東日本大震災後に同社のグループ企業(パチンコ・パチスロ店、飲食店、カラオケ・ゲーム店、食品工場)が、ホールの輪番休業などを含めて総合的に推進した節電の取り組み。昨年10月に「平成23年度省エネ大賞・東日本地区発表

大会」で発表された。

## 中古機流通協議会

### 流通制度に則った運用へ

(株)ユニバーサルE社が了承

第76回中古機流通協議会(委員長・金本正浩全日遊連副理事長)

は2月10日、全商協会議室で開かれた。(株)ユニバーサルエンターテインメント及び系列会社(株)メーシー販売、(株)ミズホ)製の遊技機の中古移動と認定作業が、メーカーの保証書のみで行なわれ、販社が発給する打刻書類では行えない現状について、2月9日、同社から全日遊連宛に「4月1日より中古機流通制度に則った運用をさせていただきます」との連絡があったことが報告された。この問題は昨年、中古機流通協議会で取り上げられ、全日遊連が同年11月、同社及び系列会社の所属団体である日電協、日工組に宛てて、協議会構成団体に所属する取扱主任者又は取扱管理者が作成する保証書によって遊技機を動かせるようにしてほしい旨の要望書を発していた。中古機流通協議会は2月15日、日遊協など構成団体に宛てて、(株)ユニバーサルエンターテインメン

トからの連絡について、この件に関する組合員(会員)へ周知を要請した。

### 11、12月の発給状況

昨年11、12月の中古用と認定用の確認証紙発給状況が報告された。

パチンコの中古用稼働実績は、11月が5万4366件(対前年比99%)、9万8901台(同90%)、12月が5万4794件(同92%)、10万8152台(同86%)で、件数で5万件、台数で10万台前後の水準を保った。チェーン店移動と販売の対比は、11月が5対5、12月は販売が若干多かった。一方、認定申請は11月が843件、1497台、12月が1853件、3505台で、機種はデジハネタイプが主流だった。

パチスロの中古用稼働実績は、11月が1万7014件(対前年比124%)、3万6557台(同119%)、12月が1万9200件(同115%)、3万9423台(同108%)だった。チェーン店移動と販売の対比は、11月が5対5、12月はチェーン店移動がやや多かった。一方、認定申請は11月が130件、659台、12月が171件、1136台だった。

# 創立5周年を祝う

遊技機  
リサイクル協会

一般社団法人遊技機リサイクル協会(小田精一代表理事)は2月17日、東京ドームホテルで通常総会を開き、役員改選で小田氏を代表理事に再選した。続いて開かれた創立5周年祝賀会には、業界団体、ホール、遊技機メーカー、リサイクル企業等の関係者が参加した。

同協会は、都遊協など首都圏の遊技業協同組合で組織された任意団体の首都圏遊技機リサイクル協議会を前身として、07年、有限責任中間法人遊技機リサイクル協会として設立され、09年、一般社団法人化された。同協会の仕組みは、ホールから排出される使用済み遊技機を協会指定のリサイクル業者が回収、処理する。処理の内容は、部品を再利用するパーツリサイクル、素材に戻すマテリアルリサイクル、炭素化して燃料や除湿剤等にするサーマルリサイクルで、とくに遊技機メーカーへ部品を戻すパーツリサイクルを最優先で促進し、資源の有効利用と新台価格の低減につながることを目的としている。

現在、協会システムに参加して



リサイクル協会祝賀会で挨拶する小田代表理事

いる都県方面遊協は北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国の24組合、遊技機メーカーは27社、指定リサイクル企業は北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国の15社となっている。

## 業界のあり方で講演

PCSAがカジノで勉強会

一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会(PCSA)は2月17日、東京・品川グランドセントラルタワーのザ・グランドホールで

第40回公開経営勉強会を開いた。

「カジノ上陸間近! 激変する環境にどう対応するのか」をテーマに、自民党前衆議院議員、葉梨康弘氏、(株)グローバルミックス代表取締役、勝見博光氏が講演した。

葉梨氏は「法制面からみたパチンコ業界の課題」と題して、カジノ推進法案の工程とパチンコ業界への影響を中心に話した。

勝見氏は「地域コミュニティの再生」と題して、メルボルン、シドニー、シンガポールなどIR(統合型リゾート)の事例と、オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のコミュニティカジノ(クラブ)の事例とを比較・説明し、パチンコ産業は単なる店舗経営から地域コミュニティのプラットフォームになって地域の活性化に貢献するなど、コミュニティカジノ型での地域との共存を説いた。

## 日電協脱退企業の扱い

中古機流通協議会が周知

日電協は2月13日、中古機流通協議会に宛てて「日電協脱退届出企業の中古機取扱について」と題する依頼文を送付した。これによると、ニイガタ電子精機(株)が3月

31日付けで日電協を脱退し会社整理に向かうので、脱退後は同社製造の遊技機の部材に関して対応できなくなる旨、協議会構成団体に周知徹底を図ってほしいとしている。同社によると、同社製造の遊技機は20台未満が市場に設置されている可能性があるという。

これを受けて中古機流通協議会は同月21日、同趣旨の文書を協議会構成団体に送付し、会員・組合員への周知徹底を要請した。

## (株)プローバが100万円

犯罪被害者の支援に寄付

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等を展開しているプローバグループ(平本直樹社長)は2月15日、犯罪被害者の支援に役立ててほしいとして社団法人広島被害者支援センターに100万円を寄付した。これとは別に、グループの全店舗・事務所(36か所)で3月1~31日まで「犯罪被害者支援募金」を実施し、集まった浄財を改めて同支援センターに寄付する。

同グループは様々な社会貢献活動に取り組み一環として、犯罪被害者の支援活動を継続的に行っている。

## 東京都・関東支部役員会 総会の細部詰める

東京都・関東支部は2月29日、日遊協本部会議室で役員会を開き、庄司孝輝支部長以下13人が出席した。3月21日に予定する東京都・関東支部総会(新宿・ハイアットリージェンシー東京)の細部を詰めるとともに、新年度の事業計画を話し合った。

## 近畿支部役員会

### 事件などで強まる批判 福井支部長が回結を強調

近畿支部役員会が1月24日、大阪市・関西遊商会議室で開かれ、福井章支部長はじめ11人が参加し、報告・討議を行った。福井支部長は「業界に対する批判が強まっています。我々の存在意義が問われるもので、業界が一体となって進んでいきたいと思っています」と挨拶した。

登録社と日遊協の関係、会員・準会員の強化、日遊協活動のあり方などが活発に話し合われた。

## 中部支部セキユリテイー対策部会 ゴト情報の変化を報告

中部支部セキユリテイー対策部会が1月31日、名古屋市・アイリス愛知で開かれ山口悟支部長、足立利美部会長以下17人が参加した。会議では、この2〜3年のまとめとして「パチンコに関しては、2009年は電波、ぶら下がりなどのハイテクゴト情報が多くあったが、2010年からは玉持ち込み、磁石、糸吊り玉な

どのローテクゴトの情報が多くなっている。パチスロでは、ほとんどがARTを狙った行為であり、1BE Tボタンを交換する手口が多い」と報告された。

## 会員・業界消息

### 筒井公久氏が社長に (株)SANKYO

(株)SANKYOは2月22日、取締役会を開き、4月1日付で筒井公久取締役に就任する異動を決定した。澤井明彦代表取締役社長COOは取締役に就任する。

### ●事務所移転、電話番号等変更

▼株式会社バリュート・クエスト  
東京都台東区台東3丁目15番1号  
京阪御徒町ビル6F  
TEL03・58117・6180  
FAX03・58117・6181

1月4日

### ●代表者・住所変更

▼株式会社エルイーテック  
代表取締役社長・坂田洋一  
東京都墨田区錦糸町3丁目2番1号  
11年12月26日

### ●代表者変更

▼株式会社大和製作所  
代表取締役・杉浦隆幸  
2月2日

### ●株式会社

▼株式会社  
アリストクライトテクノロジーズ  
代表取締役社長・板谷絵  
2月10日  
▼株式会社スパイキ

代表取締役社長・菅沼正典

2月10日

### ●社名変更

▼大鵬レジャー産業株式会社  
(旧社名・株式会社サントイホー)  
11年9月1日

### ●株式会社

▼株式会社  
マーストリーケンソリユーション  
(旧社名・)

株式会社マーステクノサイエンス

2月1日

### ●連絡先変更

▼株式会社ジェイビーエス(本社)  
大阪市西淀川区姫島5・16・11  
TEL06・4808・2337  
FAX06・4808・2339  
(旧連絡先・大阪支店)  
2月10日

# DATASPO T

## 3か月連続で店舗数は増えている

全日遊連は2月23日、店舗数、遊技機台数の2012年1月分を発表した。店舗数は前月に比べると19店増えて1万1333店となった。3か月連続増で、大震災からの復活ばかりとは言えず、新年の開店の意味も含め業態が上向いていると評価したいが、今しばらく経過を見る必要がある。昨年1月と比べるとこの1年間184店減少で低落傾向は変わらない。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万2144台(昨年1月293万1322台)パチスロ機はプラス7万8236台(昨年1月128万1903台)となった。総計で422万9473台となり、昨年1月より1万6092台増えているが、遊技機の全体的傾向は変わらない。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

### 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,333	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473

### 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	216	-2
東北	502	+3
東京	487	+2
関東	1408	+8
中部	417	+2
近畿	750	+1
中国	260	+3
四国	122	0
九州	586	+1
全国計	4748	+18

(2012年1月31日現在)